

令和6年2月 日清医療食品

3月は卒園式があります。赤ちゃんだった頃から、園の食事を食べてきた年長さんの姿を見ると 「本当に大きくなったなぁ」とつくづく感じます。

野菜が苦手だった子どもたちも、卒園のときは食べられるものが増えて、給食室のメンバーに

とってもうれしい「卒園」です。



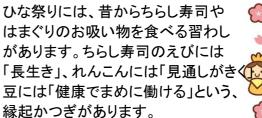






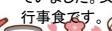






はまぐりには2枚の貝がらがぴったり

合う様子から、「夫婦なかよく」の意味 があり、昔は花嫁道具として持たせ ていました。女の子の幸せを願った









乳幼児期に学ぶ食事のマナー

★あいさつの大切さ

「気持ちをリセットして食事に向かう」 食べ物を見ると、唾液が出て、消化の準備が始まりま す。食卓にある食べ物を前に 「いただきます」とあいさつをすることで 「遊び」から「食事」にスイッチが入れ替わります。 遊び食べが多い乳幼児期ですが、あいさつをけじめと して食事に向かう習慣を身につけましょう。



給食室では、子どもたちへの愛情は もちろん、子どもの口に入るものを 作るという重要な役割にやりがいと 責任を感じて毎日作っています。栄 養バランスや安全な食材選び、薄味 の心がけ、食べやすい切り方、盛りつ け、彩り…子どもたちの「おいしかっ たよ!」の声が何よりの励みです。



スプーンの持ち方の変化

①パームグリップ

(手のひら全体で握る)



②サムグリップ

(親指でスプーンの柄を 支えることができる)



③ペングリップ

(えんぴつを持つように、 親指・人差し指・中指の3点で支える 持ち方になる)



※当園では、こどもの指先の発達をみながら6歳の誕生日を迎え たあと(たんぽぽぐみ)をめやすにおはしを導入しています

★適切に食具を使う大切さ

和食文化のマナーでお箸を正しく使う ことはとても大切なこと。

「手づかみ食べ」で、手指、腕、口の動き の協調運動が獲得出来たらスプーン・ フォーク・お箸の練習を始めましょう。 焦らずに、おおらかな気持ちで見守り、 お手本となる姿を見せてあげましょう。

